

# 特 別 活 動

## ■ 内容面では…

- 1 各活動、学校行事に目標を規定  
→ 各内容に係る活動を通して育てたい態度や能力を示す。
- 2 人間関係を築く力、社会に参画する態度や自治的能力の育成を重視  
→ 体験活動や話し合い活動、異年齢集団による活動を通して、社会性にかかわる力を高める。

## ■ 指導方法では…

- 1 全体計画と年間指導計画の作成を明確  
→ 各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間などの指導との関連を図る。
- 2 道徳的実践の指導の充実  
→ 望ましい集団生活による児童生徒の自主的、実践的な活動を生かす。

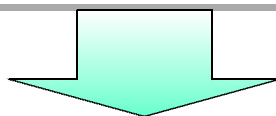




## I 特別活動の課題と改善の基本方針

### ■ 特別活動の課題 ■

- A 特別活動の充実が学校生活の満足度や楽しさと深くかかわっているが、子どもたちの資質や能力の育成に十分つながっていない状況もある。
- B 学校段階の接続の問題として、小1プロブレム、中1ギャップなど集団への適応にかかわる問題がある。
- C 生活体験の不足や人間関係の希薄化、集団のために働く意欲や生活上の諸問題を話し合っ解決する力の不足、規範意識の低下などが顕著になっており、好ましい人間関係を築けないことや、望ましい集団活動を通じた社会性の育成が不十分である。
- D 特別活動について、全体の目標は示しているが、各内容ごとの目標は示していないため、活動を通して何を育てるかが明確でないことや、総合的な学習の時間などとの教育活動の重なりがある。
- E 学級活動の内容について、小学校では6年間を通じた活動内容をまとめて示しているため、発達や学年の課題に対応した適切な活動が行われにくく、中学校では、内容が網羅的になっているため、重点を置きたい内容の指導に力が注ぎにくい。



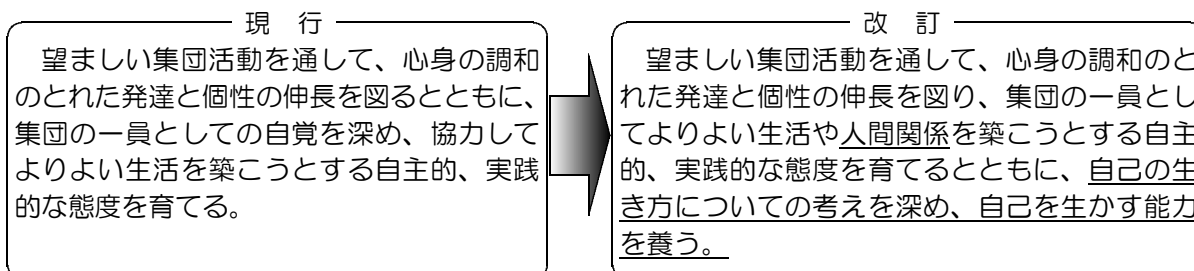
### ■ 改善の基本方針 ■

- A 特別活動と道徳、総合的な学習の時間のそれぞれの役割を明確にし、特によりよい人間関係を築く力、社会に参画する態度や自治的能力の育成を重視する。
- B 道徳的実践の指導の充実を図る観点から、目標や内容を見直す。
- C 特別活動の全体目標を受けて、各内容に係る活動を通して育てたい態度や能力を目標として示す。
- D 子どもの発達や学年の段階、課題に即した内容を示すなどして、重点的な指導ができるようにする。その際、道徳や総合的な学習の時間などとの有機的な関連を図ったり、指導方法や教材を工夫したりする。
- E 体験活動や話し合い活動、異年齢集団による活動を通して、社会性にかかわる力を高める。
- F 体験活動について、体験を通して感じたり、気付いたりしたことを振り返り、言葉でまとめたり、発表し合ったりする活動を重視する。

## II 改訂の主なポイント～目標・内容編

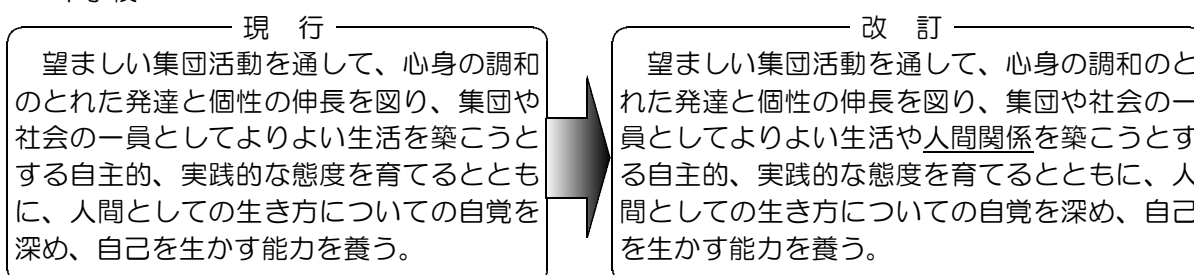
### ポイント1 目標はどう変わったか？

#### ■ 小学校



- 主な変更点…「自覚を深め、協力して」…削除  
「人間関係」…追加  
「自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。」…追加

#### ■ 中学校



- 主な変更点…「人間関係」…追加

### ポイント2 内容構成の主な変更点は？

小・中学校 共 通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各活動や学校行事に目標と内容を新たに示した。</li> <li>・学校行事の内容(2)学芸的行事を、文化的行事と改めた。</li> </ul>
小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動の内容を、〔第1学年及び第2学年〕 〔第3学年及び第4学年〕 〔第5学年及び第6学年〕 〔共通事項〕 に分けて示した。</li> <li>・児童会活動の内容を、(1)児童会の計画や運営 (2)異年齢集団による交流 (3)学校行事への協力 として示した。</li> <li>・クラブ活動の内容を、(1)クラブの計画や運営 (2)クラブを楽しむ活動 (3)クラブの成果の発表 として示した。</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動の内容を、(1)学級や学校の生活づくり (2)適応と成長及び健康安全 (3)学業と進路 として示した。</li> <li>・生徒会活動の内容を、(1)生徒会の計画や運営 (2)異年齢集団による交流 (3)生徒の諸活動についての連絡調整 (4)学校行事への協力 (5)ボランティア活動などの社会参加 として示した。</li> </ul>

### ポイント3 指導内容の変更点及び具体的事項は？

#### ○ 主な変更点

小・中学校 共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事の内容(2)学芸的行事を、文化的行事と改め、「…を発表し、」と「文化や芸術に親しんだりするような活動」を加えた。</li> </ul>
小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級活動の内容(1)学級や学校の生活づくりに、「ウ 学校における多様な集団の生活の向上」を加えた。</li> <li>学級活動の内容(2)日常の生活や学習への適応及び健康安全に、「エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解」を加えた。</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級活動の内容(2)を、「適応と成長及び健康安全」として示し、「カ ボランティア活動の意義の理解」に「参加」を加えた。</li> <li>学級活動の内容(3)を、「学業と進路」として示し、「ア 学ぶことの意義の理解」に「働くこと」を加えた。</li> <li>学校行事の内容(5)勤労生産・奉仕的行事に、「職場体験などの」と「共に助け合って生きる喜びを体得し、」を加えた。</li> </ul>

#### ■ 改訂の具体的事項

##### 【小学校】 ◎…新規、☆…文言の変更・追加

	〔第1学年及び第2学年〕	〔第3学年及び第4学年〕	〔第5学年及び第6学年〕
学級活動	<p>学級を単位として、仲良く助け合い学級生活を楽しくするとともに、日常の生活や学習に進んで取り組もうとする態度の育成に資する活動を行うこと。</p>	<p>学級を単位として、協力し合って楽しい学級生活をつくるとともに、日常の生活や学習に意欲的に取り組もうとする態度の育成に資する活動を行うこと。</p>	<p>学級を単位として、信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるとともに、日常の生活や学習に自主的に取り組もうとする態度の向上に資する活動を行うこと。</p>
	<p>〔共通事項〕</p> <p>☆(1) 学級や学校の生活づくり                      ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決      イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理                      ◎ウ 学校における多様な集団の生活の向上</p> <p>☆(2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全                      ア 希望や目標をもって生きる態度の形成      イ 基本的な生活習慣の形成                      ウ 望ましい人間関係の形成      ◎エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解                      オ 学校図書館の利用      カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成                      ☆キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成</p>		
児童会活動	◎(1) 児童会の計画や運営	◎(2) 異年齢集団による交流	
クラブ活動	◎(1) クラブの計画や運営	◎(2) クラブを楽しむ活動	
学校行事	(1) 儀式的行事      ☆(2) 文化的行事      (3) 健康安全・体育的行事 (4) 遠足・集団宿泊的行事      (5) 勤労生産・奉仕的行事		

【中学校】 ◎…新規、☆…文言の変更・追加

学級活動	☆(1) 学級や学校の生活づくり ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決      イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理 ウ 学校における多様な集団の生活の向上 ☆(2) 適応と成長及び健康安全 ☆ア 思春期の不安や悩みとその解決      イ 自己及び他者の個性の理解と尊重 ウ 社会の一員としての自覚と責任      エ 男女相互の理解と協力 オ 望ましい人間関係の形成      ☆カ ボランティア活動の意義の理解と参加 キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成      ク 性的な発達への適応 ☆ケ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 ☆(3) 学業と進路 ☆ア 学ぶことと働くことの意義の理解      イ 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用 ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用      ☆エ 望ましい勤労観・職業観の形成 オ 主体的な進路の選択と将来設計
生徒会活動	◎(1) 生徒会の計画や運営      ◎(2) 異年齢集団による交流 (3) 生徒の諸活動についての連絡調整      (4) 学校行事への協力 ☆(5) ボランティア活動などの社会参加
学校行事	(1) 儀式的行事      ☆(2) 文化的行事      (3) 健康安全・体育的行事 (4) 旅行・集団宿泊的行事      (5) 勤労生産・奉仕的行事

#### ポイント4 小中の関連は？

- (1) 今回の改訂では、義務教育としての系統性を踏まえ、小学校と中学校との接続と発展を図ることが重視されています。
- (2) 特に小学校高学年の学級活動では自己の生き方を取り上げたり、中学校入学当初には社会的スキルを身に付けるための活動を効果的に取り入れたりするなど、小中学校の接続に配慮して、指導の重点化を図ることが大切です。

#### ポイント5 総合的な学習の時間との関連は？

- (1) 総合的な学習の時間における学習活動により、特別活動の学校行事に掲げる各行事の実施と同様の成果が期待できる場合においては、総合的な学習の時間における学習活動をもって相当する特別活動の学校行事に掲げる各行事の実施に替えることができます。
- (2) 問題の解決や探究活動といった総合的な学習の時間の趣旨を踏まえ、例えば、自然体験活動やボランティア活動を行う場合において、これらの活動は集団活動の形態をとる場合が多く、望ましい人間関係の形成や公共の精神の育成など、特別活動の趣旨も踏まえた活動とすることが考えられます。

## ポイント6 時数はどう変わるのか？

- 全学年とも、学級活動の授業時数の変更はありません。

表 学年毎の特別活動（学級活動）の年間授業時数

学 年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
現行時数	34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)
改訂時数	34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)
増 減	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※（ ）は週当たり時数

### Ⅲ 改訂の主なポイント～指導方法編

#### ポイント1 全体計画や各活動・学校行事の年間指導計画の作成について明確に示した

- 1 学校の全職員が、指導計画について共通理解を図り、学校全体で組織的に指導に当たることが大切です。
- 2 特別活動については、教科のように具体的な内容までが示されていないなどの弾力を積極的に生かし、各学校において特色ある指導計画を作成することが求められます。
- 3 学級や学校の実態、児童生徒の発達の段階などを考慮して、指導計画を作成することが大切です。
- 4 児童生徒による自主的、実践的な活動が助長されるように、指導計画を作成することが大切です。
- 5 各教科等で育成された能力が、特別活動で十分に活用できるようにするとともに、特別活動で培われた協力的で実践的な態度が、各教科等の学習に生かされるように関連を図る必要があります。
- 6 指導計画を作成する上で、家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫することが大切です。

#### 【特別活動の全体計画に示す内容の例（小学校）】

- 特別活動の重点目標
- 学校教育目標や指導の重点との関連
- 各教科、道徳（道徳の内容項目や道徳の重点）、外国語活動、総合的な学習の時間などとの関連
- 学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事の目標と指導の方針
- 特別活動に充てる授業時数や設置する委員会、クラブ、実施する学校行事
- 学級活動の各内容に充てる授業時数
- 評価の観点

#### ポイント2 道徳的実践の指導の充実を図る

- 1 学習指導要領の第3指導計画の作成と内容の取扱いの1の(4)に、「第1章総則の第1の2及び第3章道徳の第1に示す道徳教育の目標に基づき、道徳の時間などとの関連を考慮しながら、第3章道徳の第2に示す内容について、特別活動の特質に応じて適切な指導をすること。」が加えられました。
- 2 特別活動の目標には、心身の調和のとれた発達と個性の伸長、自主的、実践的な態度、自己の生き方についての考え、自己を生かす能力など道徳教育がねらいとする内容と共通している面が多く含まれています。
- 3 学級や学校生活における特別活動の望ましい集団活動や体験的な活動は、日常生活における道徳的実践の指導をする重要な機会と場になります。



### ポイント3 話し合い活動などの諸活動の充実を！

- 1 学級活動、児童（生徒）会活動、クラブ活動（小学校のみ）について、今日的な課題を踏まえ「よりよい生活を築くために集団としての意見をまとめるなどの話し合い活動や自分たちできまりをつくって守る活動、人間関係を形成する力を養う活動などを充実するよう工夫すること。」が加えられました。
- 2 話し合い活動は、学級活動の内容「(1) 学級や学校の生活づくり」や、児童（生徒）会活動の「児童（生徒）会活動の計画や運営」、クラブ活動の「クラブの計画や運営」において中心となる活動であり、協同的に議論して他者の思いや願いなどを理解して集団として意見をまとめるなどの資質や態度を育成することが大切です。
- 3 学級や学校でのよりよい生活のために自分たちできまりをつくって守る活動は、集団の一員としての自覚を高め、自主的、実践的な態度を身に付けさせるとともに、規範意識が高まり、社会性を育成することにつながります。
- 4 特別活動の目標において「人間関係」を築くことが重視され、学級活動はもとより、児童（生徒）会活動やクラブ活動などにおけるそれぞれの集団や集団活動の特質に即して、他者とのかわり方などに関する自己の生き方についての考えを深めたり、自己を生かす能力を養ったりすることが大切です。

### ポイント4 学級活動の内容の重点化と内容間の関連や統合の工夫を！

- 1 学級や学校及び児童生徒の実態、学級集団の育成上の課題や発達の段階などを踏まえ、各学年段階において取り上げる指導内容の重点化を図ることが大切です。
- 2 また、必要に応じて、内容間の関連や統合を図ったり、他の内容を加えたりすることができます。

### ポイント5 体験活動や言語活動の充実を！

- 1 自然の恵みに感動する心をはぐくむ自然体験や、社会の一員としての在り方や望ましい勤労観・職業観を育成するための社会体験などの体験活動を、意図的・計画的に実施することが大切です。
- 2 特に、小学校においては、「異年齢集団による交流」により、複数の学年が一緒に参加する学校行事をより多く計画し、異年齢の他者と望ましい人間関係を築く態度の形成を図ることが求められています。
- 3 また、学校行事においては、言語力の育成や体験したことからより多くのことを体得させる観点から「体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりするなどの活動を充実する」ことが求められています。

#### IV 授業展開例

1 単位時間の指導計画については、小学校学習指導要領解説「特別活動編」において詳細な説明がなされており、それに基づいて小学校の授業展開例を示しました。

- 学級活動の活動内容の「(1)学級や学校の生活づくり」と「(2)日常の生活や学習への適応及び健康安全」のそれぞれ特質を踏まえて作成する必要があります。
- 「(1)学級や学校の生活づくり」の指導計画について  
 集団での話し合いを通して、集団の目標を決定し、集団で実践する児童の自発的、自治的な活動を特質としています。

【「(1)学級や学校の生活づくり」の指導計画の例】

	活 動 内 容
事前の活動	<p>教師の適切な指導のもとに、児童が次の活動を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 課題の発見 よりよい学級や学校の生活づくりにかかわる諸問題を見付け、提案をする。</li> <li>2 共同の問題（活動）の設定 協力して達成したり、解決したりする共同の問題(活動)を決めて、問題意識を共有化する。</li> <li>3 議題の決定 目標を達成したり、問題を解決したりするために、全員で話し合うべき「議題」を決める。</li> <li>4 計画の作成 話し合いの柱や順番など、話し合い活動（学級会）の活動計画を作成する。（教師は指導計画を作成する。）</li> <li>5 問題の意識化 話し合うことについて考えたり、調査したりして、自分の考えをまとめるなど問題意識をもつ。</li> </ol>
本時の活動	<p>話し合いの活動            集団討議による集団目標の集団決定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 協力してよりよい学級や学校の生活をつくるために集団としての実践するための目標や方法、内容などを決める。            （提案理由の理解 → 意見の交換 → 多様な意見を生かしたよりよい集団決定をする）</li> </ul>
事後の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 集団決定したことをもとに、役割を分担し、全員で協力して、目標の実現を目指す。</li> <li>○ 活動の成果について振り返り、評価をする。</li> </ul>

- 「(2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全」の指導計画について  
 集団での話し合いを通して、個人の目標を自己決定し、個人で実践する児童の自主的、実践的な活動を特質としています。

【「(2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全」の指導計画の例】

	活 動 内 容
事前の活動	<p>教師が意図的、計画的な指導構想のもとに、児童が次の活動を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 課題の確認 年間指導計画において取り上げる題材について、学級の児童の問題の状況などを確認する。</li> <li>2 共通の問題の設定 個々の児童が共通に解決すべき問題として、授業で取り上げる内容を決め、児童に伝え、問題意識を共有化させる。</li> <li>3 題材の決定 個々の児童が共通に解決すべき問題として、「題材（名）」を決める。</li> <li>4 計画の作成 導入、展開、終末の指導計画を作成し、事前調査をしたり、資料を作成したりする。（発達段階に即して児童の自主的な活動を取り入れるようにする）</li> <li>5 問題の意識化 授業において取り上げる問題について、自分の現状について考えたり、学級の現状を調べたりして問題意識をもつ。</li> </ol>
本時の活動	<p>話し合いの活動          集団思考を生かした個人目標の自己決定</p> <p>○ 自分の問題の状況を理解し、個人として解決するための目標や方法、内容などを決める。          （問題の状況や原因の把握 → 解決や対処の仕方などについて共に考える → 自分としての解決方法などを自己決定する）</p>
事後の活動	<p>○ 自己決定したことをもとに、個人として努力し、目標の実現を目指す。          ○ 努力の成果について振り返り、評価をする。</p>

1 内容(1)「学級や学校の生活づくり」の授業展開例(小学校の例)

1 議題 「公園清掃ボランティアについて計画を立てよう！」

2 議題設定の理由

(1) 本学級の児童は、男子〇〇名、女子〇〇名、計〇〇名で、学級目標である「思いやりのある学級」を目指して様々な取組を行ってきた。

ボランティアに対して、男子は・・・、女子は・・・の傾向にあり、・・・【児童の実態】

(2) 本議題は、総合的な学習の時間「にこにこタイム」で行うボランティア活動の内容について話し合うことを通して、勤労の価値や必要性を養うとともに、進んで他に奉仕しようとする態度を育てていく内容である。

前回の総合的な学習の時間において、・・・・・・・・・・・・・・・・・・【議題の設定の理由】

(3) ボランティア活動の内容や役割分担などを話し合うことで、お互いが支え合って楽しく豊かな学級をつくる姿勢を身につけさせたい。

事前の活動では、・・・・・・・・・・

本時の活動では、・・・・・・・・・・

事後の活動では、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【指導観】

3 指導計画

	活 動 内 容
事前の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計画委員会を中心となって、議題を決め、提案する。</li> <li>○ 学級通信や学級掲示板に議題を紹介する。</li> <li>○ 話合いの柱や流れなどの活動計画を立てる。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 清掃場所</li> <li>・ 分担</li> <li>・ 準備 など</li> </ul> </li> <li>○ 議題に対して自分の考えをまとめておく。</li> </ul>
本時の活動	<p>話合いの活動 「公園清掃ボランティアについて計画を立てよう！」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ みんなで協力してよりよいボランティア活動が計画できるように話し合う。</li> </ul>
事後の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話合いで決まった内容を学級内に掲示する。</li> <li>○ 分担した班ごとに、ボランティア活動に必要なものを準備する。</li> <li>○ 「にこにこタイム」での「公園清掃ボランティア活動」に参加する。</li> <li>○ 公園清掃ボランティア活動に参加した感想をまとめる。</li> </ul>

4 本時のねらい

- (1) ボランティア活動に関心をもち、進んで話合いに参加しようとする。
- (2) 公園の清掃する場所や分担、準備などを考え、判断することができる。
- (3) 公園の清掃する場所や分担、準備など自分の考えを発表したり、他の児童の考えと比較したりすることができる。
- (4) ボランティア活動の目的や分担の方法、準備について理解できる。

## 5 展 開

話 合 い の 活 動	指 導 上 の 留 意 点	資 料 準 備
1 はじめのことば 2 司会者等の紹介 3 議題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;">「公園清掃ボランティアについて計画を立てよう！」</div>	○ 事前に計画委員会が検討した流れに沿って進めさせる。 ○ 氏名カードの準備をしておく。	氏名カード
4 提案理由の説明 総合的な学習の時間「にこにこタイム」で行うボランティア活動の内容や方法、分担などについて話し合います。	○ 提案者に公園で撮影したビデオや写真を用いて、「にこにこタイム」で公園を清掃することに決まった経緯について説明させる。	ビデオ 写真
5 話し合い <b>【話し合いの柱】</b> (1) 公園のどの場所を清掃するのか。 ○ 遊具 ○ 落ち葉 ○ トイレ など (2) 公園を清掃するための分担や準備をどうすればいいか。 ○ 分担 生活班、委員会、好きな人など ○ 準備 ぞうきん、ほうき、ちりとり、たわし、洗剤、ビニール袋、手袋等	○ 原案に基づき、できるだけみんなに意見を発表させる。 ○ 「にこにこタイム」の時間内に終了できるように考えさせる。 ○ ビデオや写真で見た現状をもとに、清掃場所を考えさせる。 ○ 決まった清掃場所の分担を決めさせ、担当ごとに準備するものを考えさせる。 ○ 学級の全員が楽しくボランティア活動に参加できるように工夫させる。	ビデオ 写真
6 決まったことの確認 7 話し合いの感想 8 先生の話 9 おわりのことば	○ 記録係に話し合いで決定したことを確認させる。 ○ 話し合いの活動について、振り返り、良い点を伸ばせるようにする。 ○ ボランティア活動の意義を再確認し、話し合いの活動で良かった点を称賛する。	

## 6 評価の観点

- (1) ボランティア活動に関心をもち、進んで自分の意見を発表したり、他の児童の意見を聞いたりすることができたか。
- (2) ビデオや写真で見た公園の現状から、清掃場所や清掃するための分担、準備などを考え、判断することができたか。
- (3) 学級の全員が楽しくボランティア活動に参加できるように、清掃する場所や分担、準備など自分の考えを発表したり、他の児童の考えと比較したりすることができたか。
- (4) ボランティア活動の目的や分担の方法、準備について理解できたか。

## 2 内容(2)「日常の生活や学習への適応及び健康安全」の授業展開例（小学校の例）

### 1 題 材 「なぜ口をきいてくれないの？」

#### 2 題材設定の理由

(1) 本学級は、男子〇〇名、女子〇〇名、計〇〇名で、明るく活動的で素直な児童が多い。学級内の全体的な人間関係は概ね良好であるが、個々の友達関係や学習などに関して悩みをもち始めている時期である。・・・・・・・・・・・・・・・・・・【児童の実態】

(2) 本題材は、学習指導要領「学級活動」の(2)ウ「望ましい人間関係の形成」に係る内容である。本学級では、定期的に教育相談や生活アンケートを実施しているが、友達関係に悩みがある場合に、早く解決したいとは思っていてもその方法がわからないと考えている児童が最近増えている。

前回の道徳の時間において、・・・・・・・・・・・・・・・・・・【題材の設定の理由】

(3) 悩みをもったときには、落ち込むのではなく、悩みを解決する方法を考えることが大切であることに気付き、その方法を実践しようとする態度を身に付けさせたい。

事前の活動では、・・・・・・・・・・

本時の活動では、・・・・・・・・・・

事後の活動では、・・・・・・・・・・・・・・・・・・【指導観】

#### 3 指導計画

	活 動 内 容
事前の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「友達関係」についてのアンケートを実施し、これまでの経験を振り返る。</li> <li>○ 道徳の時間の「信頼・友情に関する学習」との関連を図る。</li> </ul>
本時の活動	<p>学級活動 「なぜ口をきいてくれないの？」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 友達関係の悩みの解決方法について考え、話し合う。</li> </ul>
事後の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 友達関係の悩みの解決方法について、ポイントを学級に掲示し、学習したことを実践しやすいようにする。</li> <li>○ 本時の学習内容を学級通信で保護者に伝え、家庭との連携を図る。</li> </ul>

#### 4 本時のねらい

(1) 友達関係の悩みの解決方法について、自分の意見を考えたり、進んで話合いに参加しようとする。

(2) 友達関係の悩みの解決方法を考えることができる。

(3) 友達関係の悩みの解決方法について、自分の考えを発表したり、他の児童の考えと比較したりすることができる。

(4) 友達関係の悩みの解決方法について、理解できる。

## 5 展開

学習活動と内容	指導上の留意点	資料・準備
<p>1 「友達関係」について、アンケートの結果を知る。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">           友達関係がうまくいかなかったときの解決方法を考えよう。         </div>	<p>○ 事前に行ったアンケートの結果をわかりやすいようにまとめておく。</p> <p>○ 日常生活を振り返らせ、本時の課題意識をもたせる。</p>	アンケートの結果
<p>3 想定場面を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">           一番の親友のAさんが、3日前から口をきいてくれません。仲良くしたいので自分に原因があれば謝りたいと思いますが、原因が分かりません。         </div> <p>4 解決方法について考える。</p> <p>(1) 個人で考える。</p> <p>(2) 班で話し合い、できるだけ多くの意見を発表する。</p> <p>(3) 全体で発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先生や親に相談する。</li> <li>・ 友達に相談する。</li> <li>・ 時間が経つのを待つ。</li> <li>・ スポーツをして忘れる。</li> <li>・ Aさんに直接原因を聞く。</li> </ul> <p>5 それぞれの方法について、メリット、デメリットを、全体で話し合う。</p> <p>6 Aさんに直接原因を聞く方法について、各班でロールプレイングを行い、具体的な留意点を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 謙虚で真剣な表情、態度</li> <li>・ 相手を大切に言葉かけ</li> <li>・ 聞きたいことをはっきりと</li> <li>・ 自分に原因があった時の謝罪の言葉</li> <li>・ 仲良くしたい気持ちを伝える</li> </ul>	<p>○ 友達関係が悪くなっている様子がよく分かるように説明する。</p> <p>○ 自分では原因が分からず、どうしたらよいか悩んでいることを押さえる。</p> <p>○ 可能な限り解決方法をたくさん見つけることができるようにする。</p> <p>○ 各班から出た解決方法はすべて認めるようにする。</p> <p>○ それぞれの解決方法ごとに、メリット、デメリットを出し合う。</p> <p>○ Aさんに直接聞く方法をロールプレイングをする中で、態度や言葉のかけ方について、班内で具体的なポイントを出し合う。</p>	場面絵  ワークシート  ワークシート  ワークシート
<p>7 本時の活動を振り返り、これからの実践について考える。</p>	<p>○ 活動を通して気付いたことや、これからどうしていきたいかをワークシートに書かせ、発表させる。</p>	ワークシート

## 6 評価の観点

- (1) 友達関係の悩みの解決方法について、自分の意見を考えたり、進んで班や全体の話し合いに参加することができたか。
- (2) 想定場面から、友達関係の悩みの解決方法を考えることができたか。
- (3) 友達関係の悩みの解決方法について、自分の考えを発表することができたか。
- (4) 友達関係の悩みの解決方法について、理解することができたか。

## V 移行措置のポイント

### ポイント1 平成21年度から実施です！

- 特別活動は、移行期間中から、新学習指導要領の規定によるものとなります。

### ポイント2 全体計画や各活動・学校行事の年間指導計画を作成してください！

- 今回の改訂で、特別活動の全体計画や各活動・学校行事の年間計画の作成を明確に示しています。
- 指導計画等の作成に当たっては、各教科や道徳、外国語活動、総合的な学習の時間などの指導との関連を図ることが必要です。
- 特に、道徳的実践の指導を図る観点から、道徳の時間などとの関連を考慮してください。

### ポイント3 話し合い活動などの諸活動の充実を図ってください！

- 学級活動、児童（生徒）会活動、クラブ活動（小学校のみ）について、集団としての意見をまとめるなどの話し合い活動や自分たちできまりをつくって守る活動、人間関係を形成する力を養う活動などの充実を努めてください。

### ポイント4 体験活動と言語活動の充実を図ってください！

- 自然体験や社会体験などの体験活動を、意図的・計画的に実施するように努めてください。
- 学校行事において、体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりするなどの活動の充実を努めてください。